

Agilent CrossLab スタートアップサービス

Agilent OpenLab CDS 2.8 ワークステーション / Workstation Plus ソフトウェア設置準備チェックリスト

アジレント・テクノロジーのソフトウェアをご購入いただき誠にありがとうございます。CrossLab スタートアップは、ご購入いただいた機器システムの性能を迅速かつ最大限にご利用いただけるよう、お客様を支援することに重点を置いています。

機器とソフトウェアを長期にわたって安定的に運用するためには、適切な設置場所の準備が必要です。このチェックリストには、ラボでシステムをセットアップする際に必要なソフトウェア要件がまとめられていますので、**事前準備のガイド、およびチェックリスト**としてご利用ください。

はじめに

ご注意（必ずお読みください）

- 下記「お客様へのお願い」に不明点などがございましたら、担当の代理店もしくはアジレントにご連絡ください。また、設置場所の準備状況によっては作業日程を変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 何らかの事情により設置場所の準備が作業日までに整わない場合は、日程を調整する必要がございますので、速やかに担当の代理店またはアジレントまでご連絡くださいますようお願いいたします。
- 標準操作説明に含まれない説明、運転時適格性評価（OQ）、およびお客様のアプリケーションのコンサルティングなどをご希望される場合は、別途契約が必要となりますので担当営業にご相談ください。

お客様へのお願い

インストールの前日までに、以下の内容についてご確認ください。詳細については、チェックリスト内の各セクションを参照してください。

- **コンピューターの使用環境**と設置スペースの確保
- コンピューターシステムおよび周辺機器に対応する**電源コンセント**が適切な場所に必要な数だけ用意されていること
- お客様の**ソフトウェア、ハードウェア、およびネットワーク**が本書の仕様を満たしていること
- 必要なソフトウェア認証コード、ソフトウェアライセンス、ソフトウェア証明書などがあること
- お客様のシステムに、適切な修正プログラム、Microsoft 更新プログラム、パッチが適用されていることを確認**重要：お客様が PC を用意する場合は、インストールを開始する前にお客様にて最新の Windows バージョン および Microsoft 更新プログラムを PC にインストールしておく必要があります。**
- アップグレードやアップデート用のディスクを含め、必要な**ソフトウェアメディア**やディスクなどが使用できること
- ソフトウェアに適切な**バックアップソリューション**が準備できていること

- **インストール作業および取り扱い説明の際には、機器システムのご担当者**の立ち合いをお願いしております。ご不在の場合、重要な操作やメンテナンス、安全性に関する情報をお伝えできなくなりますのでご注意ください。
- イントラネットに接続する際は、必要に応じて**システム管理者またはネットワーク管理者**が対応できること
- その他、製品固有の情報については、「**その他の重要な要件**」を参照してください。
- **最終確認**：System Preparation Tool (SPT) を実行します。OpenLab CDS 2.8 インストールメディアを挿入し、¥Setup¥Tools¥SPT にある *SystemPreparationTool.exe* を実行して最終確認を完了します。

System Preparation Tool (SPT) は Windows の設定を確認してマシンに適用します。手順の大部分はツールによって自動化されています。これらの設定を適用することで、製品のインストール時や使用時の問題を回避できます。System Preparation レポートを確認し、レポートに記載された必須、および推奨される変更を手動で適用してください。

インストール作業および取り扱い説明の際には、機器のご担当者

の立ち合いをお願いしております。ご不在の場合、重要な操作やメンテナンス、安全性に関する情報をお伝えできなくなりますのでご注意ください。

Agilent Web サイト

- オンライントレーニングおよびオンサイトトレーニングについては、**トレーニングとイベント** (<https://www.chem-agilent.com/customertr/>) にアクセスしてご確認ください。トレーニングの担当者が直接お客様と一緒に、最適なトレーニングを決定するお手伝いをすることも可能です。
- **Agilent Resource Center** ウェブページは、<https://www.agilent.com/en-us/agilentresources> からアクセスしてください。以下のトピックが利用できます。
 - Sample Prep and Containment (サンプル前処理およびサンプル容器)
 - Chemical Standards (標準物質/標準試料)
 - Analysis (分析)
 - Service and Support (サービスとサポート)
 - Application Workflows (アプリケーションワークフロー)
- **Agilent Community** は、質問の回答を得たり、アプリケーションやアジレント製品について他のユーザーと連携したり、アジレントの技術関連の詳細なドキュメントやビデオを検索したりできる便利なサイトです。<https://community.agilent.com/welcome> からアクセスしてください。
- 機器の設置に必要な準備のビデオも利用できます。**Agilent YouTube** チャンネル (<https://www.youtube.com/user/agilent>) を検索してご覧ください。
- **カスタムコンタクトセンターへのお問い合わせ：保守プランとオンデマンド | Agilent ウェブサイト** または <https://explore.agilent.com/ContactUs-jp> をご覧ください。
- Software Status Bulletin (SSB) および Software Release Bulletin (SRB) へのリンクは、インストールメディアの Setup¥Tools¥Support¥History を参照してください。
- 最新のヘルプおよびリソースが含まれるフルバージョンのオンライン版 OpenLab Help & Learning システムが、<https://openlab.help.agilent.com> からご利用いただけます。オンライン版には日本語のユーザーマニュアルも掲載されています。

設置準備

ソフトウェア仕様

ワークステーション / クライアント / サーバー

特記事項

- 機器ハードウェアを含むシステムを購入されている場合、機器の設置準備チェックリストを参照して、ラボの設置スペースに関する要件もご確認ください。

項目	詳細
オペレーティングシステム、バージョン	Windows 10 Enterprise または Professional、64 ビット (21H2 以降) Windows 11 Enterprise または Professional、64 ビット (21H2 以降)
.NET Framework (64 ビット)	.NET 3.5.x (Windows で有効にする必要があります) および .NET 4.8 以降 (OpenLab CDS 2.8 インストーラによりインストールされます)
.NET Core (64 -ビット)	.NET 6.x (OpenLab CDS 2.8 インストーラによりインストールされます)
ウェブブラウザ	Google Chrome 98 以降 Microsoft Edge
アンチウイルスソフトウェア	Symantec Endpoint Protection Trend Micro Microsoft Security Essentials McAfee
言語の設定/互換性	英語 西ヨーロッパ言語 (CDS は常に英語で表示) 中国語 (ローカライズされていない機器ドライバは英語で表示) 日本語 (ローカライズされていない機器ドライバは英語で表示) ポルトガル語 (ブラジル) (ローカライズされていない機器ドライバは英語で表示)
アカウント設定/権限	インストールと設定にはローカルの管理者権限を持つドメインユーザーが必要

コンピューターのハードウェア仕様 ワークステーション / クライアント / サーバー

項目	ワークステーション	Workstation Plus
プロセッサのタイプと速度	Intel® i5、i7、Xeon E3、または同等品 3.0 GHz 以上 4 コア	
メモリー	8 GB（機器 2 台まで、機器ポイント が 2 ポイントまでの場合） 16 GB（機器 4 台まで、機器ポイント が 3 以上の場合）。	16 GB
	Windows オペレーティングシステムには、少なくとも 4 GB 確保されているようにしてください。	
内部ストレージ/デバイス/メディア	最小 1 x 500 GB 7200 RPM SATA ドラ イブまたは同等のソリッドステート ドライブ。より高い性能を求める場 合は SSD ドライブを推奨。	最小 2 x 500 GB または 1 TB 7200 RPM SATA ドライブまたは同等の ソリッドステートドライブ。より 高い性能を求める場合は SSD ドラ イブを推奨。 コンピューターにディスクアレイ コントローラがある場合は、 RAID1（2x 1 TB）を推奨します。
RS-232 ポート	選択した機器が RS-232 通信を使用する場合はシリアルポートが 1 個必 要。詳細は機器の仕様を参照してください。	
USB ポート	インストールには USB 2.0 が必要	
LAN カード	機器コントロール用 100 MB / 1 GB LAN 機器のデータトラフィックをラボのイントラネット接続から分離するた めに、社内ネットワーク用に 2 枚目の LAN カードが必要	
グラフィック解像度（フェイルオー バーモードのみモニタが必要）	最小 1600 x 900 推奨 1920 x 1080	

ネットワーク仕様

特記事項

LAN 通信を使用して、ワークステーション/Workstation Plus と機器を接続する場合、以下の手法を使用できます。

- 標準の CAT 5 ネットワークケーブルを使用し、スイッチングハブを介して接続
- 100/1000 Mbps 以上の速度に対応している LAN 通信ハードウェアで接続
- NIC チーミング（注記1を参照）：ワークステーション/Workstation Plus の LAN カードは、チーミングしないでください。
- LAN 通信では、AIC が機器と同一のサブネット上にある必要があります。同一のセグメント上を推奨します。

注記 1：ネットワークインターフェイスカード (NIC) のチーミングは、負荷分散フェイルオーバー (LBFO) とも言います。

項目	サポート
ネットワークのタイプ、帯域幅、速度、プロトコルなど	インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPV4) のみ インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPV6) はサポートされていません。
IP アドレス	固定 または DHCP 予約

その他の重要な要件

- サポートされているハードウェア、ソフトウェア、機器、およびファームウェアの要件については、[CDS_v2.8_Requirements_ja.pdf](#) を参照してください。
- お客様が Windows ファイアウォール以外のファイアウォールを使用している場合、必要なすべてのポートが OpenLab CDS によって使用できることを確認します。詳細については、『OpenLab CDS ワークステーション、クライアント、および機器コントローラ 要件とサポートする機器』ガイド（[CDS_v2.8_Requirements_ja.pdf](#)）の 3 章「ネットワーク仕様」の「ファイアウォールの設定」を参照してください。

サービスエンジニアの確認（オプション）

サービスエンジニアがお客様と一緒に設置準備の要件を確認した場合は、サービスエンジニアが以下のコメント欄に記入します。

サービスエンジニアのコメント

設置準備についての特記事項や、お客様へのお知らせを記入します。

設置準備の完了/署名

サービスリクエスト番号：

実施日：

サービスエンジニア氏名：

お客様氏名：

サービスエンジニア署名：

本文書のページ数：